

平成13年度

交野市埋蔵文化財発掘調査概要

2002. 3

交野市教育委員会

例 言

1. 本書は交野市教育委員会が、平成13年度国庫補助事業として計画・実施した交野市内における埋蔵文化財発掘調査の概要報告である。
2. 発掘調査は交野市教育委員会が調査主体となって実施した。
3. 本書で使用したレベル高は海拔絶対高で、方位は磁北方位である。
4. 調査及び報告書の作成にあたっては大阪府埋蔵文化財調査研究センター一瀬和夫氏、市本芳三氏、赤松和佳氏のご教示を得た。記して感謝いたします。

目 次

例 言

第1章 埋蔵文化財発掘調査の状況

第2章 主要発掘調査地に係る報告

図 表

- 図1 調査地位置図
- 図2 馬場遺跡調査地位置図
- 図3 森遺跡調査地位置図
- 図4 寺村北遺跡・寺村遺跡調査地位置図
- 図5 交野郡衙跡調査地位置図
- 図6 倉治遺跡調査地位置図
- 図7 馬場遺跡 2001-1次調査平・断面実測図
- 図8 森遺跡 2001-2次調査平・断面実測図
- 図9 森遺跡 2001-3・4次調査平・断面実測図
- 図10 森遺跡 2001-5次調査平・断面実測図
- 図11 寺村北遺跡 2001-1次調査平・断面実測図
- 図12 交野郡衙跡 2001-4次調査平・断面実測図
- 図13 倉治遺跡 2001-1次調査平・断面実測図
- 図14 森遺跡 2001-10次調査平・断面実測図
- 図15 寺村遺跡 2001-1次調査(大畑古墳)トレンチ位置図
- 図16 寺村遺跡 2001-1次調査(大畑古墳)第2トレンチ断面実測図
- 図17 寺村遺跡 2001-1次調査(大畑古墳)第4トレンチ平・断面実測図
- 図18 寺村遺跡 2001-1次調査(大畑古墳)第6トレンチ断面実測図
- 図19 寺村遺跡 2001-1次調査(大畑古墳)第7トレンチ断面実測図

表1 助助事業に係る発掘調査地一覧

写真図版

- 写真1 馬場遺跡 2001-1次調査トレンチ
- 写真2 森遺跡 2001-3次調査第1トレンチ
- 写真3 森遺跡 2001-3次調査第2トレンチ
- 写真4 森遺跡 2001-4次調査第3トレンチ
- 写真5 森遺跡 2001-2次調査溝(庄内期)検出状況
- 写真6 森遺跡 2001-2次調査遺物出土状況
- 写真7 森遺跡 2001-5次調査第1トレンチ
- 写真8 森遺跡 2001-5次調査第2トレンチ
- 写真9 寺村北遺跡 2001-1次調査第2トレンチ

- 写真10 交野郡衙跡 2001-4 次調査トレンチ
写真11 倉治遺跡 2001-1 次調査トレンチ
写真12 森遺跡 2001-10 次調査トレンチ
写真13 寺村遺跡 2001-1 次調査(大畑古墳)第2トレンチ (基底石上の崩落石検出状況)
写真14 寺村遺跡 2001-1 次調査(大畑古墳)第2トレンチ (基底石検出状況)
写真15 寺村遺跡 2001-1 次調査(大畑古墳)第2トレンチ断面
写真16 寺村遺跡 2001-1 次調査(大畑古墳)第2トレンチ第28層青磁碗出土状況
写真17 寺村遺跡 2001-1 次調査(大畑古墳)第3トレンチ断面(西から)
写真18 寺村遺跡 2001-1 次調査(大畑古墳)第5トレンチ断面(東から)
写真19 寺村遺跡 2001-1 次調査(大畑古墳)第4トレンチ断面(南から)
写真20 寺村遺跡 2001-1 次調査(大畑古墳)第4トレンチ断面(西から)
写真21 寺村遺跡 2001-1 次調査(大畑古墳)第4トレンチ葺石検出状況
写真22 寺村遺跡 2001-1 次調査(大畑古墳)第4トレンチ葺石・粘土検出状況
写真23 寺村遺跡 2001-1 次調査(大畑古墳)第6トレンチ断面(北から)
写真24 寺村遺跡 2001-1 次調査(大畑古墳)第7トレンチ断面(北から)
写真25 寺村遺跡 2001-1 次調査(大畑古墳)出土遺物

第1章 埋蔵文化財発掘調査の状況

交野市教育委員会では平成13年5月21日から平成14年2月8日に至る間、寺村遺跡他9件の補助事業に係る発掘調査を実施した(表1)。今年度調査の対象となった遺跡は、交野郡衙跡、馬場遺跡、森遺跡、寺村北遺跡、寺村遺跡、倉治遺跡である。なお、遺構や遺物が出土した調査地に関しては第2章で述べる。

表1 補助事業に係る発掘調査地一覧 (1)

調査日	遺跡名	調査地	調査内容	図・写真
1 5/21、 25	馬場遺跡 2001-1次調査	交野市私市6丁目 421-1の一部	調査地の西側に2×1mのトレンチを設定し、地表下50cmまで人力にて掘削する。層位は8層確認できたが、最下層のみ地山で、その上は盛土や搅乱層であった。遺構・遺物は確認できなかった。	図2・7 写真1
2 6/1	森遺跡 2001-2次調査	交野市森北1丁目 41-2	第2章に記載。	図3・8 写真5・6
3 7/17	森遺跡 2001-3次調査	交野市森北1丁目 9-1、10-2	調査区の東側の南端と中央にそれぞれ1×1mのトレンチを設定し、地表下50cmまで人力にて掘削する。堆積層は3～4層で、遺構・遺物は確認できなかった。	図3・9 写真2・3
4 7/17	森遺跡 2001-4次調査	交野市森北1丁目 8-1、9-1の一部	調査区の南側に1×1mのトレンチを設定し、地表下60cmまで人力で掘削を行う。堆積は5層で、遺構・遺物なし。	図3・9 写真4
5 7/23	森遺跡 2001-5次調査	交野市森南1丁目 288-4	調査区の南側に2×0.5m、1.5×0.5mのトレンチを設定し、地表下1.1mまで重機にて削削を行う。最下層より土器片を確認した。	図3・10 写真7・8
6 9/4、 5	寺村北遺跡 2001-1次調査	交野市寺4丁目 840-1、3	調査地に3ヵ所(第1トレンチ10.0×0.5m、第2トレンチ14.5×0.5m、第3トレンチ12.5×0.5m)のトレンチを設定し、機械にて地表下50～80cmまで掘削する。第3トレンチで溝状の遺構を確認し、中から古墳時代の土器片が出土した。	図4・11 写真9
7 10/4	交野郡衙跡 2001-4次調査	交野市郡津1丁目 327	調査地の中央部、5×0.8mのトレンチを設定し、重機にて地表下1.1mまで掘削する。埋土は5層で遺構・遺物は確認できなかった。	図5・12 写真10

表2 補助事業に係る発掘調査地一覧 (2)

調査日	遺跡名	調査地	調査内容	図・写真
8 11/13	倉治遺跡 2001-1次調査	交野市倉治1丁目 473の一部	調査地の中央北側に 2.6 × 0.8 m のトレンチを設定し、重機にて地表下 1.0 m まで掘削する。遺構は確認されなかったが地表下 60 ~ 80 cm の黒褐色シルト層より土器の出土が認められた。	図 6・13 写真 11
9 11/27	森遺跡 2001-10次調査	交野市森南1丁目 300-16	調査地の南側中央部に 2.0 × 0.7 m のトレンチを設定し、人力にて地表下 70 cm まで掘り下げる。砂層のみの盛土のみであった。	図 3・14 写真 12
10 1/17 ~ 2/8	寺村遺跡 2001-1次調査	交野市寺2丁目 236-1	第2章に記載。	図 4・15 ~ 19、写 真 13 ~ 25

第2章 主要発掘調査地に係る報告

①森遺跡 2001-2次調査（交野市森北1丁目41-2番地、図3・8、写真5・6）

調査地の中央部に 22.0×0.7 m のトレーニングを設定し、地表下約 1.2 m まで重機にて掘削を行う。古墳時代の地山面までの基本層序は 5 層である。調査地の中央部にて幅 4 m の溝を検出した。遺物は確認できなかったが、この溝はその方向から当調査地の南側に接する森遺跡 95-2-1 次調査地（交野市教育委員会「森遺跡 V」1997）にて検出した、庄内期の溝 1 に繋がるものと推定された。また、当調査地の北側の森北1丁目37番地も緊急の発掘調査を交野市文化財事業団が実施している（交野市文化財事業団「文化財だより」第9号 2002）。その結果、当調査地より延びる溝を確認し、中から庄内期の遺物が出土している。その確認のためさらに、新たに 3カ所のトレーニング (1.5×1.0 m, 2.5×1.0 m, 1.3×1.2 m) を設定し、それぞれ地表下 2 m 以上重機にて掘削し、溝の位置を確認している。

②寺村遺跡 2001-1 次調査（大畑古墳、交野市寺2丁目236-1番地、図4・15～19、写真13～25）

当調査地の東側に接して、比高差 3 m ほどの独立丘陵がある。当初よりこれが古墳の墳丘ではないかという想定のもと調査を実施した。この高まりは市道森南神宮寺線によって幅約 8 m に渡って削り取られているが、道路を挟んで北西部にも高まりは伸びている。この丘陵の先には東車塚古墳をはじめとする古墳時代中期の車塚古墳群がある。当古墳も車塚古墳群に含めるべきとも考えたが、当地周辺は弥生時代の代表的な遺跡である寺村遺跡内にあり、古墳の名称は慎重に内部で協議を重ねた結果字名（奥野平次他『交野市史 民俗編』1981 P414）をとり、大畑（おおばたけ）古墳とすることになった。ただし、今後は当古墳を考古学的な見地から考える場合、車塚古墳群と関連づけて考察する必要はあると思われる、注意を要する。

当調査地と道を挟んだ西側の寺1丁目233-1番地にて昭和53年に当市教育委員会が緊急の発掘調査を実施したところ、この古墳の時期を推定できる円筒埴輪が出土している。一緒に弥生時代の土器片のほか、6世紀から7世紀代の須恵器も出土している。これらの須恵器は古墳築造後のものである（水野正好『交野市史 考古編』1991 P168～176）。

調査は、古墳の基底部を確認することを目的に、計 7 カ所のトレーニングを開けた。調査の詳細は次のとおりである。

第1トレーニングは市道の交差点側に設定した。調査後、一旦は埋めもどした。しかし、第4トレーニング等のその後の調査の結果、第1トレーニングで掘削した面より下層で古墳の墳丘が確認される恐れのあることが分かったので、再度調査範囲を広げて、新たに第2トレーニングとして調査を実施している。

第2トレーニングは前方後円墳の後円部西側部に設定した。東西 8 m、南北 4～1.5 m の不定形なトレーニングで、深さ 2.0 m まで掘削した。地山は砂層で東側で地表下 1.1 m、西側で地表下 1.6 m 付近で確認している。地山は緩やかに西側方向に傾斜を持っていた。これは本トレーニングが北西部に向かってのびる尾根の西側斜面に位置することを示していることを伺わせる。

古墳の基底部は崩壊が激しいが、トレーニングの東側でかろうじて、葺石やそれを止めていた粘土を検出している。念のため調査終了の際に、重機にてさらに東側を掘削したところ、予想どおり葺石は認めるることはできなかった。基底石及び地山の上面は葺き石の転石があ

り、さらにその上にはシルト層があり、ふたたび葺石の層が確認された。このことは、少なくとも2回は墳丘の削平行為が行われていたことを示していると考えられる。崩落した葺石や墳丘の中に、粘土ブロックが所々混じっていた。このことから、墳丘斜面では、広く粘土が貼り付けられていたことが予想された。

また、古墳の破壊を示す葺石の散乱状況は、上面より東側で地表下50cm、反対側で80cmまで認められた。この崩落した葺石や墳丘の中から古墳築造以後の上器が出土している。詳細については後で述べる。

第3トレーニチは後円部墳丘内に位置する箇所である。東西2.0m、南北0.7mの長方形のトレーニチで、地表下1.9mまで調査した。古墳の墳丘の堆積が砂層であることを確認している。掘削深度が1.5mを越えており、断面実測は行えていない。

第4トレーニチは古墳のくびれ部付近にある。トレーニチは不整のL字形である。トレーニチは東西2.4m、南北2.5m、幅70~90cmを測り、掘削は地表下1.6mまで行った。調査の結果、地表下1.0mで転落もしくは破壊された葺石を確認し、それらの石を慎重に外した結果、1.2~1.4mで基底石を確認している。また、この葺石の下には灰白色の粘土が敷かれていた。その粘土の下は地山の砂層であり、葺石が流出しないように粘土を置いたのであろう。この粘土は上層の後世に崩れた葺石群の中にも入っていた。この状況は第2トレーニチと同じである。

第5トレーニチも古墳のくびれ部付近にある。東西2.0m、南北0.7mの長方形のトレーニチで、地表下1.8mまでを調査した。その結果、古墳の墳丘土と思われる堆積はこのトレーニチでは確認できなかった。

第6トレーニチは、前方部東側にある。南北2.3m、東西1.1mの長方形のトレーニチで、地表下1.5mまで掘削した。調査の結果、古墳西側の基底部を確認した。基底石などの葺石は確認できなかった。墳土は粘土層であった。上層では崩落した葺石やその下に敷かれていた粘土ブロックを確認している。

第7トレーニチは、前方部西側に位置する。東西4.7m、南北2.6mの長方形のトレーニチで、地表下1.4mまで掘削した。その結果、墳丘部の西側掘部とそこからなだらかに下る砂層の堆積が認められた。重機の掘削の際に平瓦片が出土している。出土層位は不明である。葺石の出土は認められなかった。

今回の調査地では、古墳の時期を決定づける埴輪などの出土物の出土ではなく、破壊された葺石に伴って中世・近世の遺物が出土しているだけである。古墳の破壊された時期であるが、第2トレーニチの基底石上面の崩落石中から近世陶器の丹波産の甕が出土しており、江戸時代に入ってから大規模な古墳の墳土の破壊が始まったものと思われる。同層及び上層からは鎌倉期の平瓦片や瓦器、1~5世紀代の龍泉窯系の青磁器片が出土している。

以上の調査の結果、付近の地形から考えて、図15のように復元できる。その結果、墳長90~95m、後円径約50m・高さ約3m、前方幅約50m・高さ4mを測る、前方部が後円部に対して高い前方後円墳の可能性が考えられた。周囲の地形からみて周溝を作わない可能性が高いと考えられる。

図 版

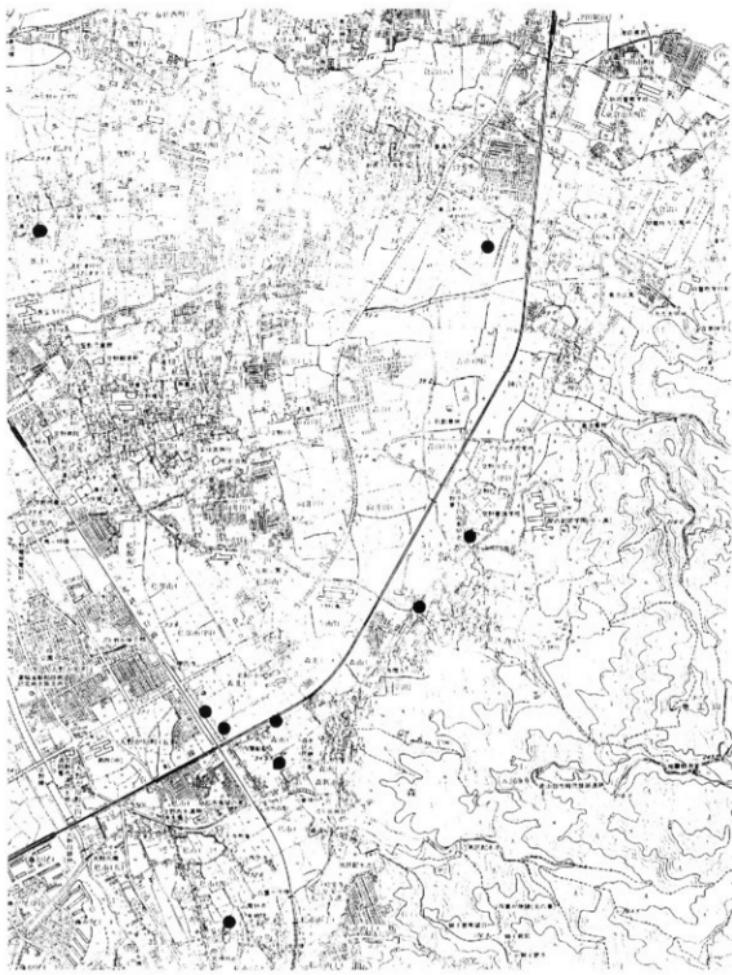


図1 調査地位置図

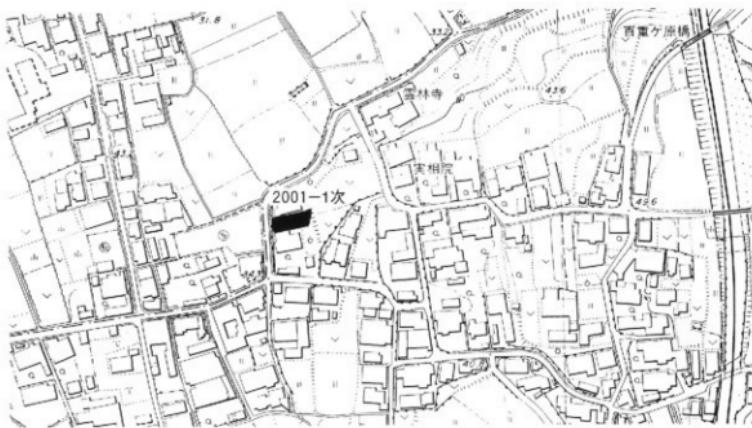


図2 馬場遺跡調査地図位置図

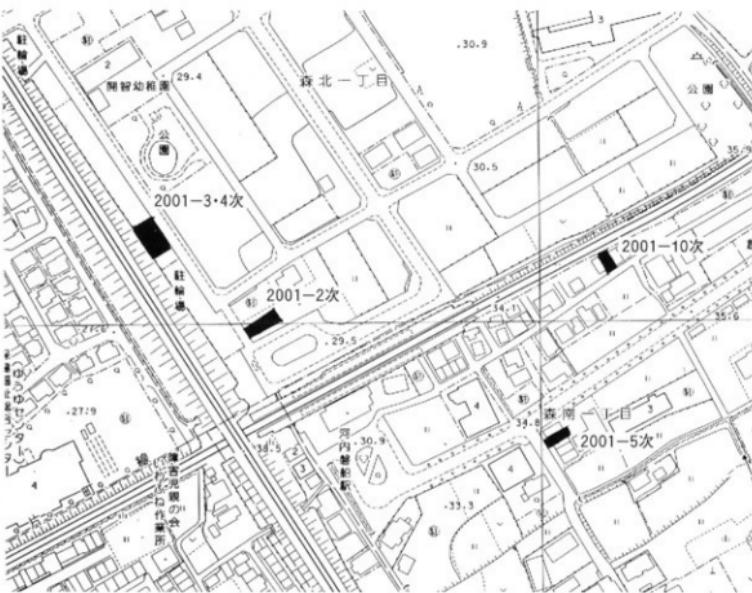


図3 森遺跡調査地位置図

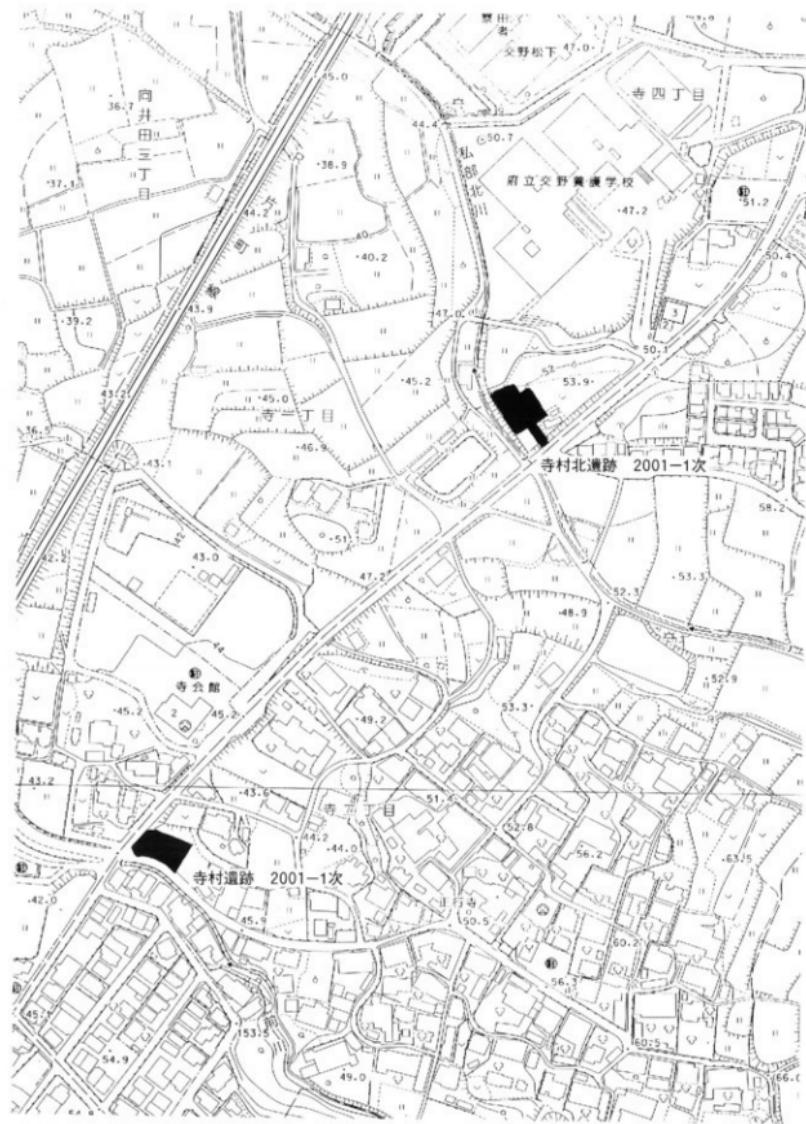


図4 寺村北遺跡・寺村遺跡調査位置図

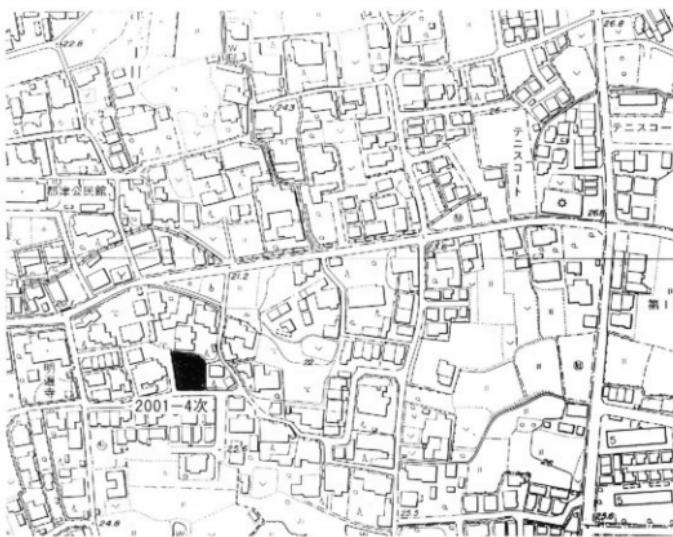


図5 爭野郡衙跡調査地位置図



図6 倉治遺跡調査地位置図

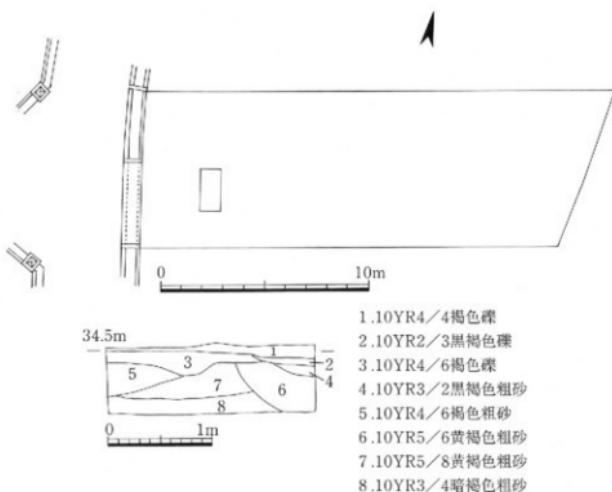


図7 馬場遺跡2001-1次調査平・断面実測図

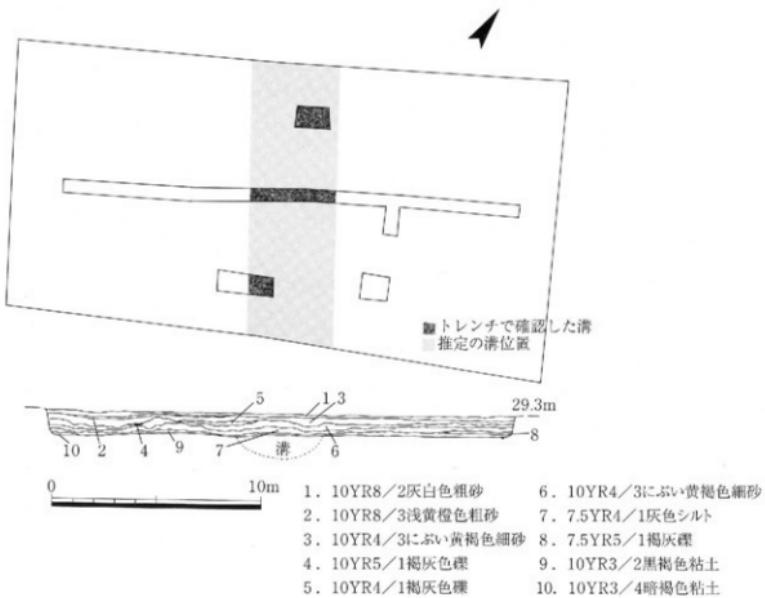


図8 森遺跡2001年-2次調査平・断面実測図

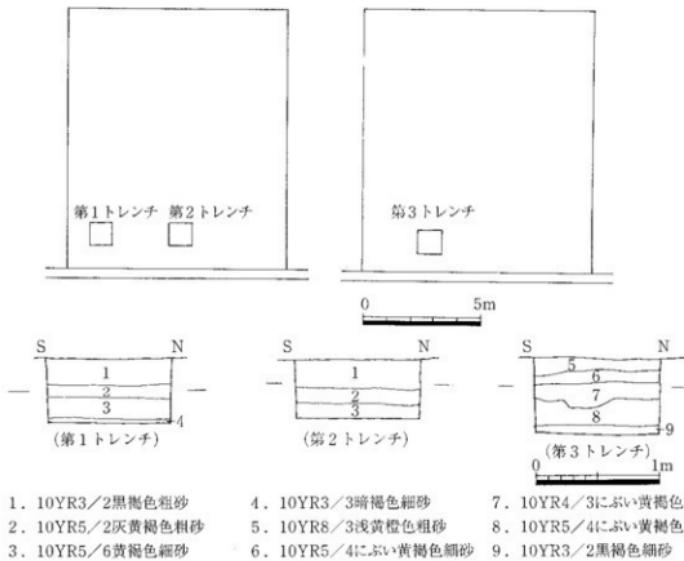


図9 森遺跡2001-3・4次調査平・断面実測図

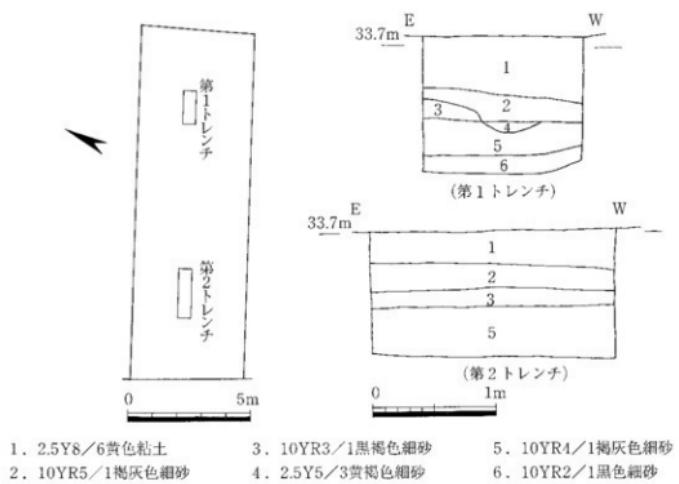


図10 森遺跡2001-5次調査平・断面実測図

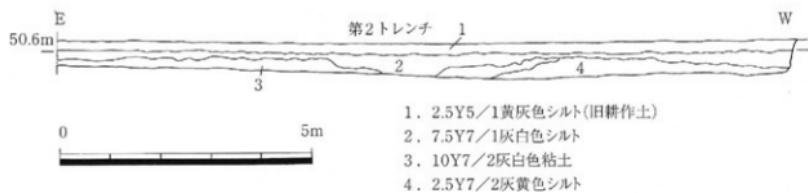
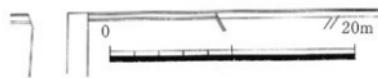
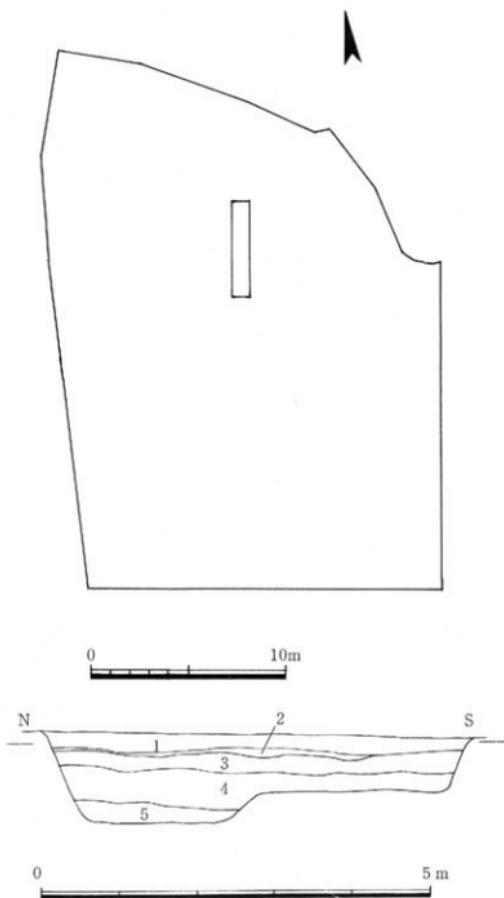


図11 寺村北遺跡2001-1次調査平・断面実測図



- 1. 10YR7/8黄橙色粗砂
- 2. 10YR6/6明黄褐色粗砂
- 3. 10YR1.7/1黑色細砂
- 4. 10YR5/6黄褐色細砂
- 5. 10YR4/6褐色シルト

図12 交野郡衙跡2001-4次調査平・断面実測図

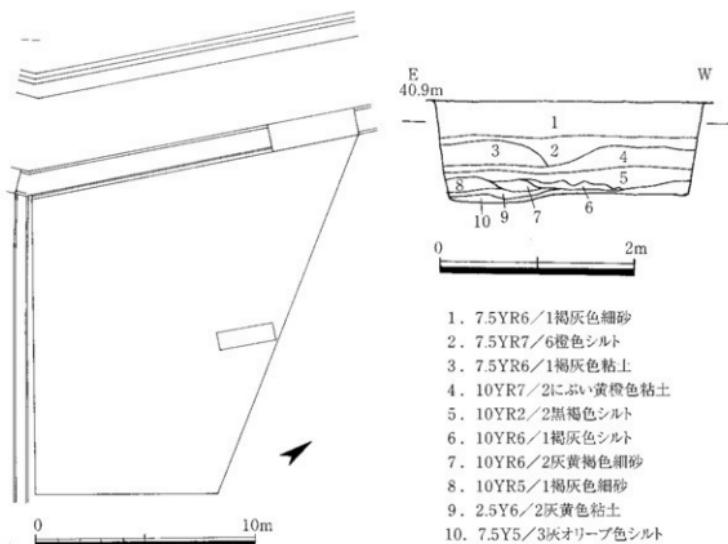


図13 倉治遺跡2001-1次調査平・断面実測図

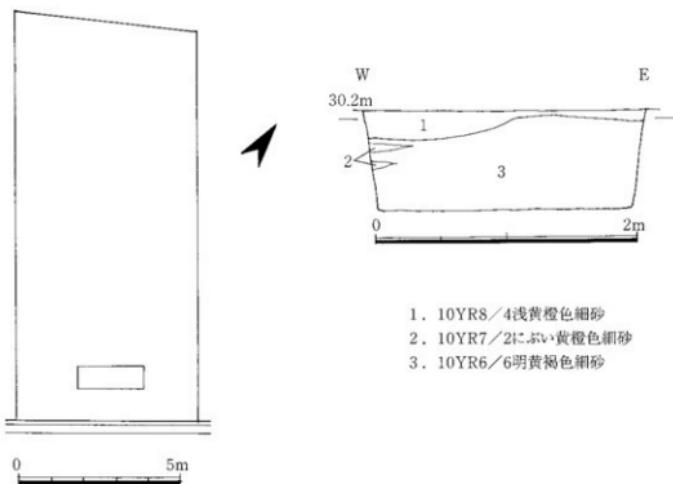
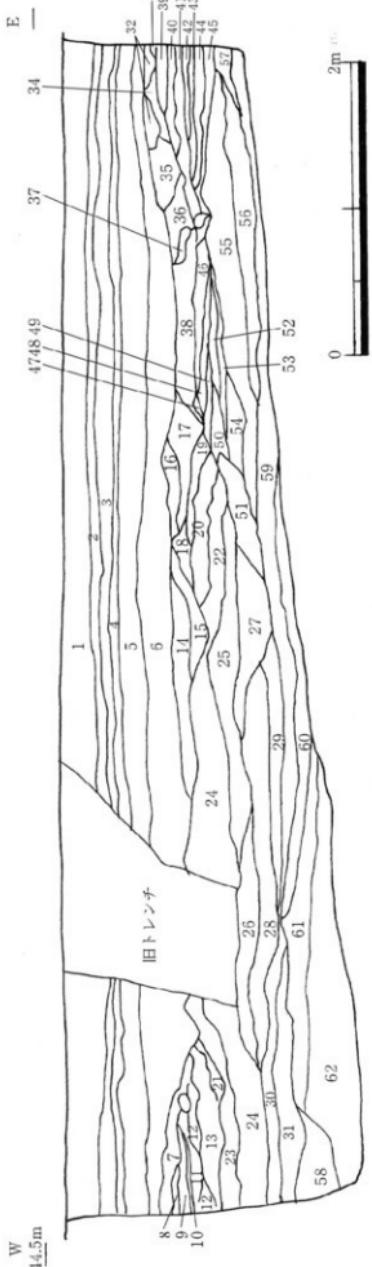


図14 森遺跡2001-10次調査平・断面実測図



図15 寺村遺跡2001-1次調査(大塚古墳) レンチ位置図(S=1/1,000)



1	2.5Y2/1灰色細砂(シルト)	14	2.5Y7/1灰白色細砂	27	[0]7.7(3.5)灰褐色細砂(径25mm漂浮)	40	2.5Y7/2灰白色細砂	53	5Y6/1灰褐色細砂(漂浮)
2	2.5Y1/2暗灰褐色シルト(粗砂混)	15	5Y6/1灰白色細砂	28	2.5Y7/2灰褐色細砂(径30mm漂浮)	41	2.5Y7/1灰白色細砂(漂浮)	54	2.5Y6/1灰褐色細砂
3	7.5YR6/2灰褐色細砂(粗砂混)	16	5Y7/1灰白色細砂(径10mm漂浮)	29	10YR8/2灰白色細砂(径20mm漂浮)	42	7.5YR7/3(3.5)灰褐色細砂	55	10YR8/2灰褐色細砂(径50mm漂浮)
4	7.5T5/4(3.5)褐色細砂(粗砂混)	17	5Y6/2灰褐色細砂(粗砂混)	30	10YR7/8灰褐色細砂(径45mm漂浮)	43	7.5YR7/4(3.5)灰褐色細砂	56	10YR7/3(3.5)灰褐色細砂(径60mm漂浮)
5	10YR6/2灰褐色細砂(粗砂)	18	5Y7/1灰白色細砂(径15mm漂浮)	31	5Y5/8明赤褐色細砂(径35mm漂浮)	44	7.5YR7/6橙色礫	57	5Y8/2灰白色細砂(径60mm漂浮)
6	5Y7/1灰白色細砂(径30mm石混)	19	5Y7/1灰白色細砂(粘土混)	32	5Y7/2灰褐色オリーブ色粗砂	45	2.5Y8/2灰白色細砂(径30mm漂浮)	58	10YR8/3灰褐色細砂(径80mm石混)
7	5Y8/1灰白色細砂	20	2.5Y7/1灰白色細砂(径20mm漂浮)	33	10YR7/3(3.5)灰褐色礫	46	5Y6/1灰褐色細砂(径45mm漂浮)	59	10YR8/2灰白色細砂
8	5Y7/2灰白色シルト	21	10YR8/1灰白色粗砂	34	10YR6/2灰褐色礫(径15mm石混)	47	2.5Y8/2灰白色粗砂(漂浮)	60	5YR6/8橙色細砂
9	5Y7/1灰白色細砂	22	10YR7/1灰白色細砂(径45mm漂浮)	35	5Y7/2灰白色細砂	48	2.5Y8/1細砂	61	10YR7/4(3.5)灰褐色細砂(漂浮)
10	2.5Y7/1明灰褐色細砂	23	5Y6/1褐色細砂(粗砂混)	36	10YR8/3灰褐色細砂(径25mm石混)	49	10YR7/1灰白色細砂	62	10YR8/4灰褐色細砂(径100mm-150mm石混)
11	2.5Y8/1灰白色細砂	24	10YR7/1灰白色細砂(径45mm漂浮)	37	7.5G7/8明褐色灰白色粘土	50	10YR8/2灰白色細砂(粗砂混)		
12	5Y8/1灰白色細砂	25	10Y6/3(3.5)灰褐色細砂(径10mm漂浮)	38	2.5Y8/1灰白色細砂(径20mm漂浮)	51	7.5YR7/3(3.5)灰褐色細砂(径80mm漂浮)		
13	5Y7/2灰白色細砂	26	10YR7/2(3.5)灰褐色細砂(径25mm漂浮)	39	5Y7/2灰白色細砂(漂浮)	52	2.5Y8/2灰白色細砂(粗砂混)		

図16 寺村遺跡2001-1次調査(大畑古墳)第2トレーン断面実測図

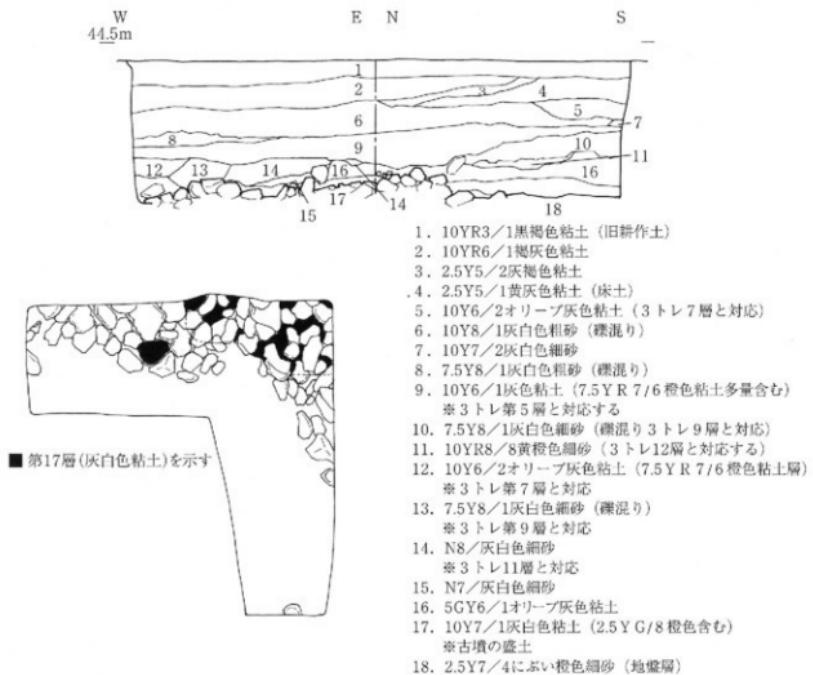


図17 寺村遺跡2001-1次調査(大畠古墳)第4トレンチ平・断面実測図

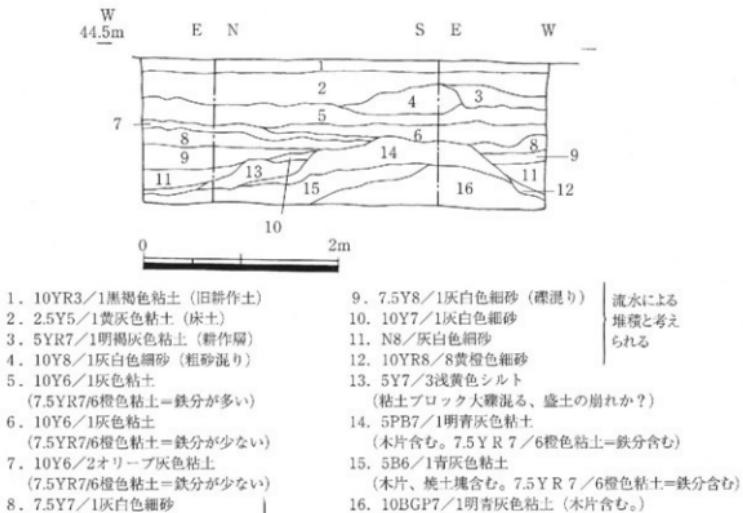
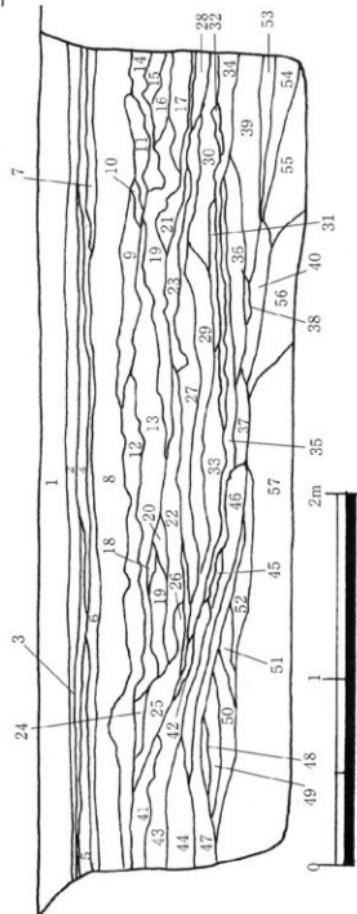


図18 寺村遺跡2001-1次調査(大畠古墳)第6トレンチ断面実測図



1	5Y2/1黒色シルト	13	10YR8/1灰白色粗砂	25	2.5Y7/1明褐色粗砂	37	7.5YR6/2灰褐色粗砂(湿)	49	7.5YR8/2灰白色粗砂
2	5YR5/2灰褐色シルト(細砂)	14	10YR7/8黄橙色粗砂	26	2.5Y7/2明褐色粗砂	38	2.5Y6/3に古い褐色粗砂	50	7.5YR6/8橙色粗砂
3	5YR6/1褐色粗砂	15	5Y6/1灰色細砂(シルト)	27	5Y7/2灰白色細砂	39	2.5YR7/1明褐色粗砂	51	2.5Y6/2灰褐色粗砂
4	5YR5/1褐色粗砂	16	10YR7/1灰白色粗砂	28	7.5YR8/2灰白色粗砂	40	5YR6/8橙色細砂	52	7.5YR5/8明赤褐色礫
5	5YR6/2褐色細砂	17	2.5Y6/2灰褐色細砂	29	10YR7/2に古い黃褐色細砂	41	2.5Y8/2灰白色粗砂(シルト)	53	2.5Y7/2明褐色粗砂
6	5YR7/2明褐色粗砂	18	5Y5/1灰色シルト	30	7.5Y7/2明褐色灰黑色細砂	42	7.5YR6/4に古い橙色粗砂	54	2.5Y6/2灰褐色粗砂
7	5YR6/2褐色細砂	19	10YR7/1灰白色シルト(細砂)	31	2.5Y6/2灰褐色細砂	43	2.5Y8/1灰白色粗砂 下部7/7に褐色灰黑色細砂	55	10YR7/2に古い黃褐色粗砂
8	2.5Y7/2明褐色粗砂(細砂)	20	2.5Y6/2灰褐色細砂	32	7.5Y7/3に古い橙色粗砂	44	2.5Y7/1明褐色灰黑色粗砂	56	7.5Y6/6橙色粗砂
9	5Y7/2灰白色細砂	21	2.5Y7/2明褐色細砂	33	5Y7/1灰白色細砂(シルト)	45	2.5Y6/2灰褐色細砂	57	10YR7/3に古い黃褐色粗砂
10	10YR8/1灰白色粗砂	22	5Y6/1灰白色シルト	34	10YR6/2灰黃褐色細砂	46	7.5YR7/2明褐色粗砂		
11	5Y7/1灰白色シルト	23	10YR8/1灰白色粗砂	35	10YR7/4に古い黃褐色粗砂	47	5Y7/1灰白色粗砂		
12	5Y7/1灰白色シルト	24	2.5Y8/1灰白色細砂	36	10YR7/1灰白色粗砂	48	7.5YR8/1灰白色礫		

図19 寺村遺跡2001-1次調査(大畠古墳)第7トレーンチ断面実測図

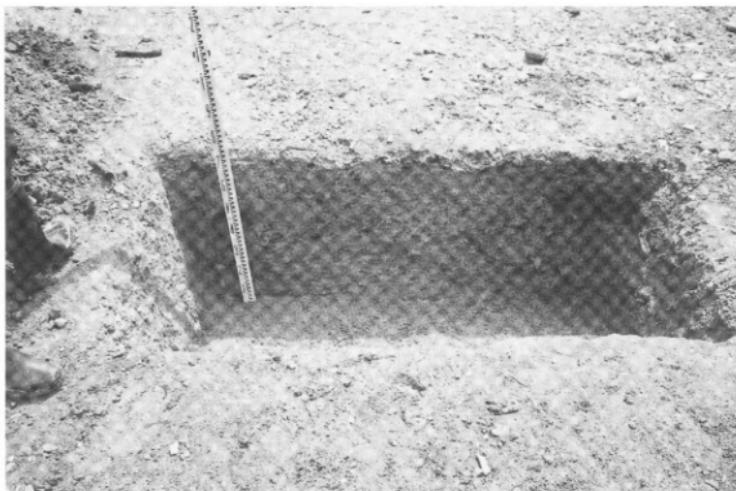


写真1 馬場遺跡2001-1次調査トレンチ

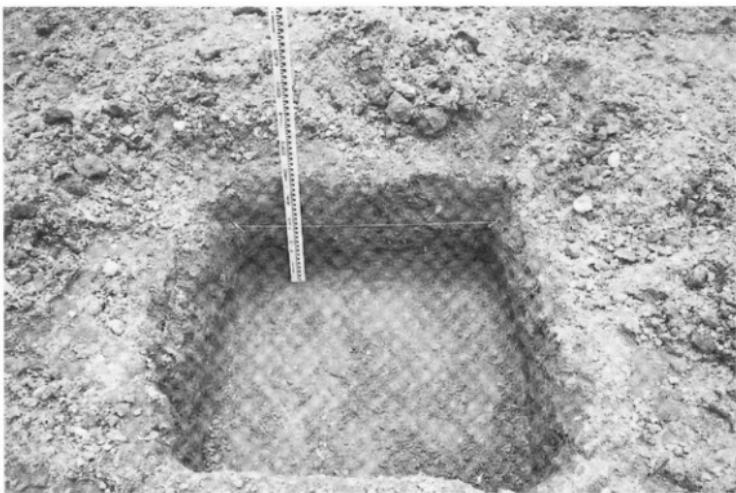


写真2 森遺跡2001-3次調査第1トレンチ

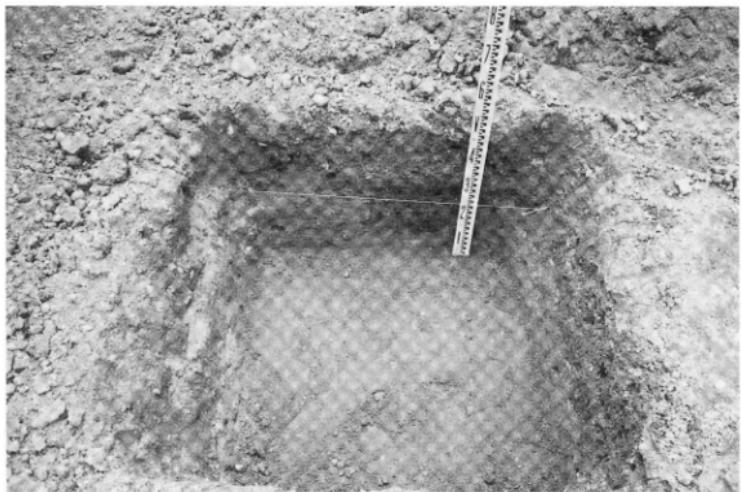


写真3 森遺跡2001-3次調査第2トレンチ

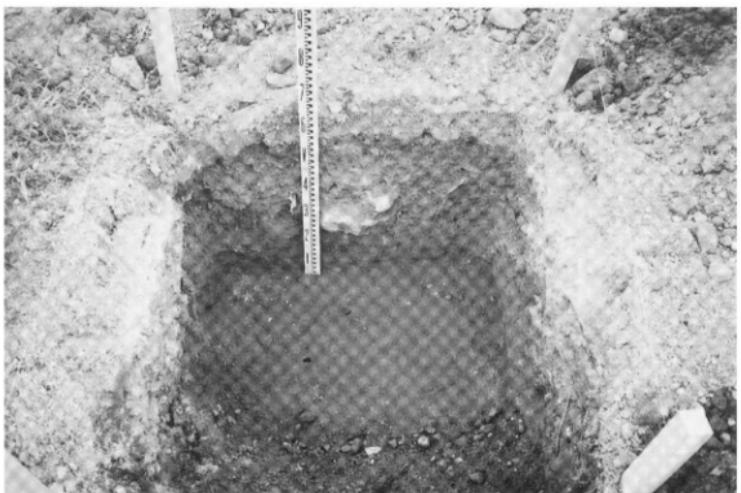


写真4 森遺跡2001-4次調査第3トレンチ

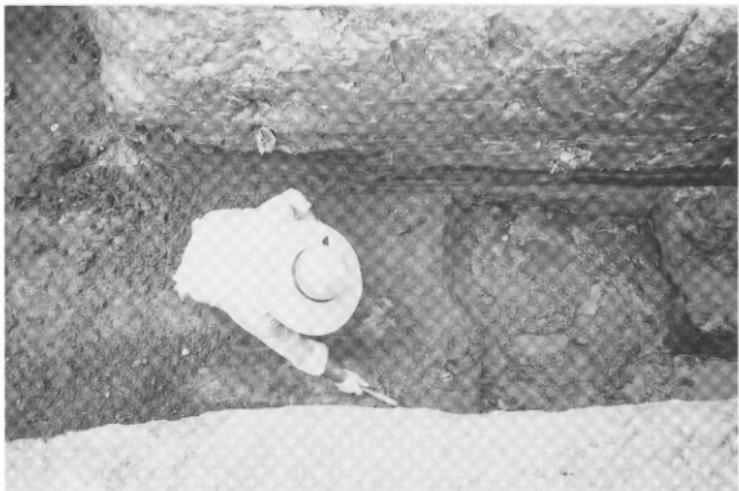


写真5 森遺跡2001-2次調査溝(庄内期)検出状況



写真6 森遺跡2001-2次調査遺物出土状況

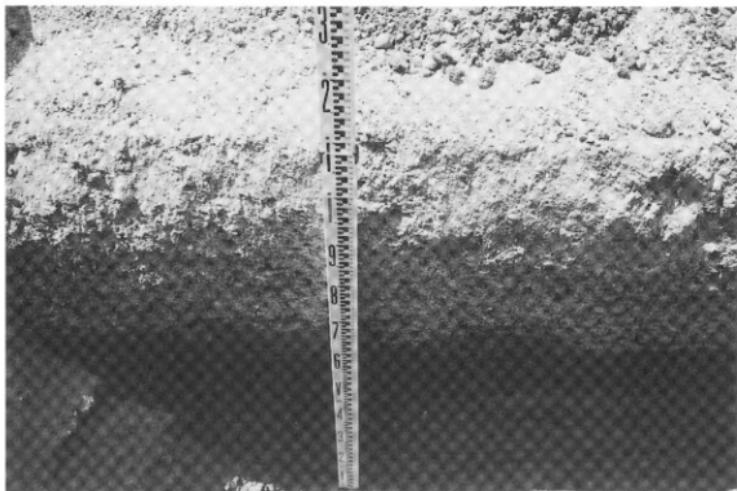


写真7 森遺跡2001-5次調査第1トレンチ

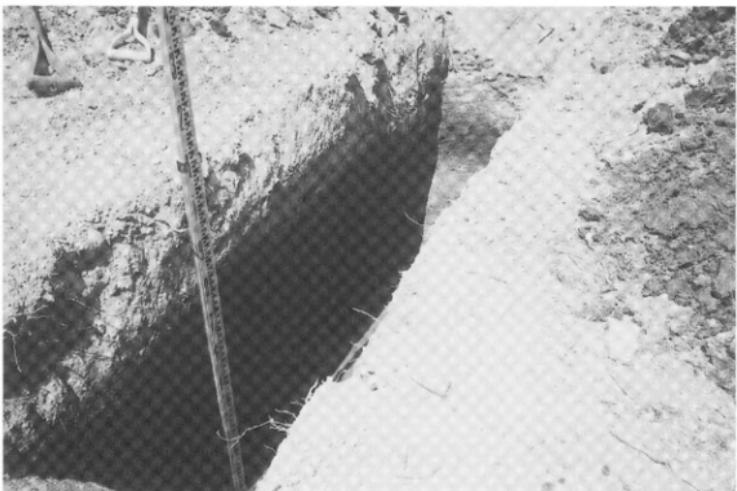


写真8 森遺跡2001-5次調査第2トレンチ

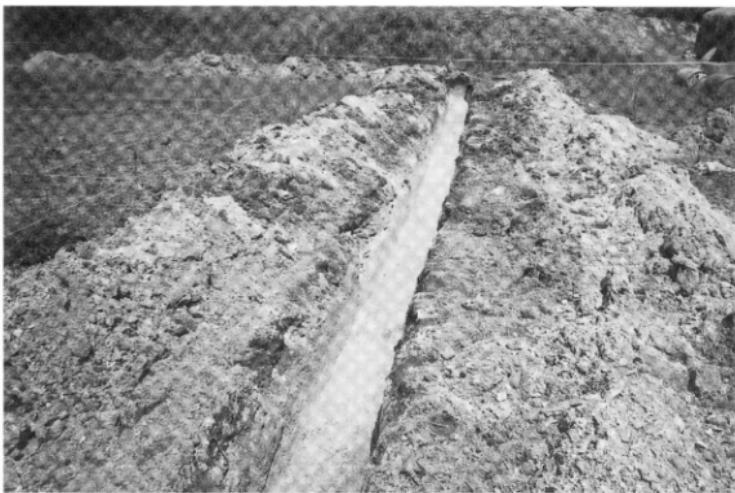


写真9 寺村北遺跡2001-1次調査第2トレンチ

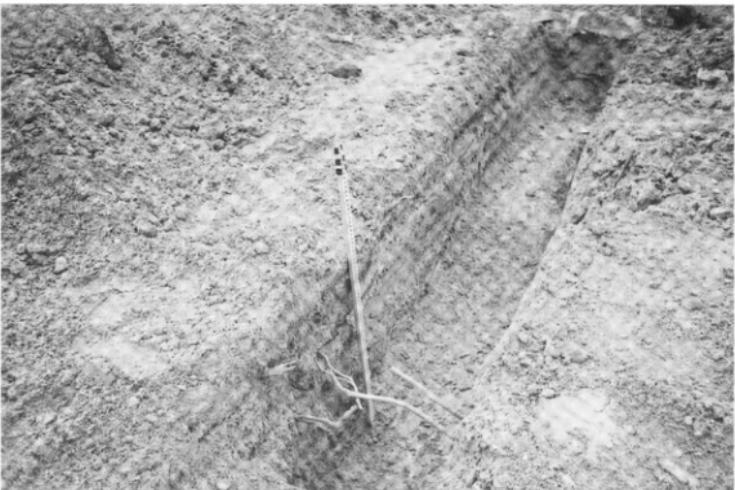


写真10 交野郡衙跡2001-4次調査トレンチ

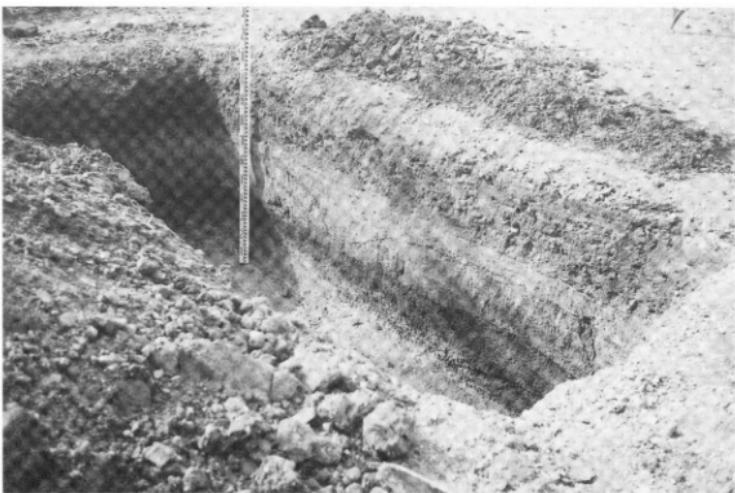


写真11 倉治遺跡2001-1次調査トレンチ



写真12 森遺跡2001-10次調査トレンチ



写真13　寺村遺跡2001－1次調査(大烟古墳)第2トレンチ
—基底石上の崩落石検出状況—



写真14　寺村遺跡2001－1次調査(大烟古墳)第2トレンチ
—基底石検出状況—

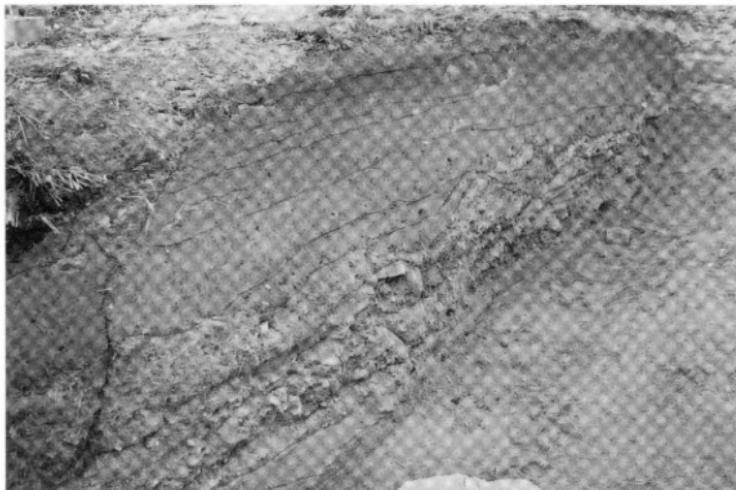


写真15 寺村遺跡2001-1次調査(大畠古墳)第2トレンチ断面



写真16 寺村遺跡2001-1次調査(大畠古墳)第2トレンチ
—第28層青磁碗出土状況—



写真17 寺村遺跡2001-1次調査(大烟古墳)第3トレンチ断面(西から)



写真18 寺村遺跡2001-1次調査(大烟古墳)第5トレンチ断面(東から)

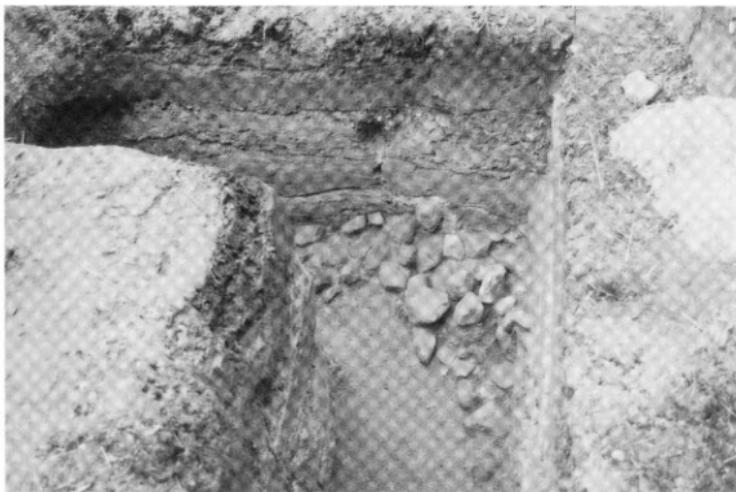


写真19 寺村遺跡2001-1次調査(大畠古墳)第4トレンチ断面(南から)



写真20 寺村遺跡2001-1次調査(大畠古墳)第4トレンチ断面(西から)



写真21 寺村遺跡2001-1次調査(大畠古墳)第4トレンチ葺石・粘土検出状況



写真22 寺村遺跡2001-1次調査(大畠古墳)第4トレンチ葺石・粘土検出状況

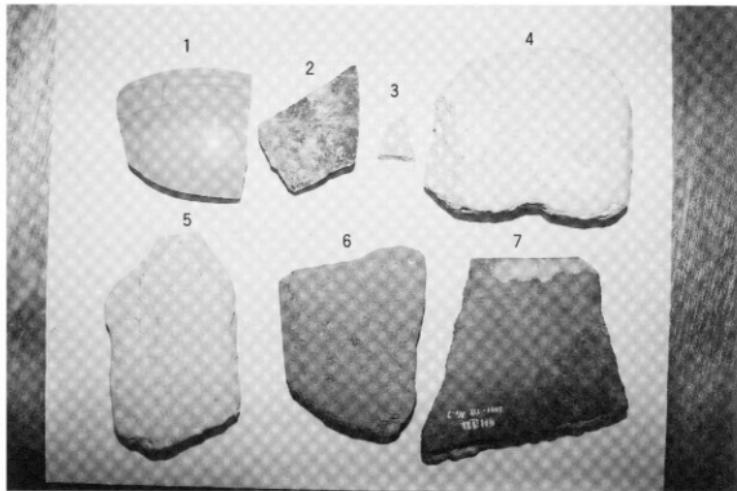


写真23 寺村遺跡2001-1次調査(大畠古墳)第6トレンチ断面(北から)



写真24 寺村遺跡2001-1次調査(大畠古墳)第7トレンチ断面(北から)

表



裏

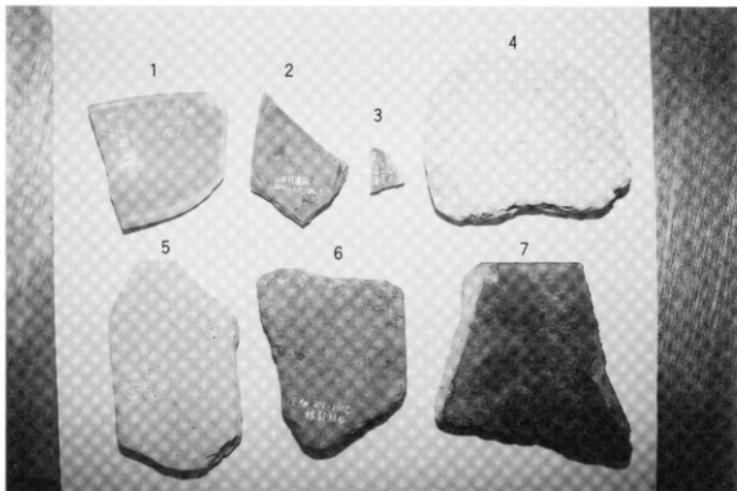


写真25 寺村遺跡2001-1次調査(大畠古墳)出土置物
1~3、5~7 第2トレンチ 4 第7トレンチ
1. 貢磁碗 2. 丹波甕 3. 瓦器椀 4~7. 瓦片

報 告 書 抄 錄

ふりがな	へいせい 13ねんとかたのしまいぞうぶんかざいはっくつちょうさがいよう						
書名	平成 13 年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要						
副書名							
巻次							
シリーズ名	交野市埋蔵文化財調査報告						
シリーズ番号	2001-1						
編著者名	夷野和夫・真鍋成史						
編集機関	交野市教育委員会						
所在地	〒576-0052 大阪府交野市私部1丁目1番1号 (072) 892-0121						
発行年月日	2002年3月30日						

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °'〃	東経 °'〃	調査期間	調査 面積 (m ²)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
もり 森遺跡 2001-2次調査	かたのし 交野市 もりきた 森北1丁目 41-2番地	27230		34°	135°	2001.6.1	20.57	診察所建設
				46'	41'			
てらむら 寺村遺跡 2001-1次調査	かたのし 交野市 てら 寺2丁目 236-1番地	27230		30"	25"	2002.1.17 ~ 2.8	46.7	共同住宅建設
				34°	135°			
森 寺村遺跡	集落跡 生産遺跡	古墳	溝		土師器	森遺跡 1995-1 調 査地の溝1と繋が る溝の発見。		
寺村遺跡	集落跡 散布地	古墳・中世・ 近世	古墳		陶器・磁器・瓦器 ・瓦片	大畠古墳の発見。 TK23・47 併行の 埴輪を以前に採取 している。		

平成13年度 交野市埋蔵文化財発掘調査概要

発 行 日 2002年3月30日

編集・発行 交野市教育委員会
大阪府交野市私部1丁目1番1号

印 刷 所 京阪工技社

(本報告書は、再生紙を使用しています。)

